



はじめに（平成16年2月定例会）

自由民主党の藤井律子です。議員になりまして、もうすぐまる1年を迎えようとしていますが、これからも初心を忘れることなく、郷土の発展のために精一杯頑張っていきたいと思いますので、今後とも皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

質問に入ります前に、通告の一部を変更して、私の地元、周南市のまちづくりについて知事さんに要望をさせていただきます。

今、周南市では、議会の解散に向けた市民運動が展開されていますが、一方では、周南コンビナートを「環境対応型コンビナート特区」として認定、徳山港を中四国地方で初の「リサイクルポート」に指定、新幹線「のぞみ号」の停車。徳山地区の中心市街地へ情報通信関係や大手人材派遣会社が4社進出など、明るい未来が期待できる新しい芽生えや胎動が始まってきています。

また、市民生活の面におきましても、合併により、保育料の減免制度や医療費助成、奨学金制度など多くのものが水準の高い方へ合わされましたし、どこの支所でも各種届け出や証明書の交付が可能となったことや、利用できる図書館や体育施設等の範囲も広がって便利になったとの喜びの声も聞いています。

しかしながら、合併は新たなまちづくりのスタートであり、大事なのはこれからです。現在、周南市では、その指針となります「まちづくり総合計画」を策定中ですが、4つの自治体が一緒になったわけですので、各地域の思いが違うこともあるかも知れませんし、今の厳しい財政状況のもとで、これから新市の一体的なまちづくりを軌道に乗せていくには様々な困難も予想されます。

県内のトップをきって誕生した周南市は、いわば山口県の長男です。産みの苦しみを経てようやく誕生した長男が「元気でたくましいまち」として立派に独り立ちできるように、親として、積極的に手を貸して頂きたいと思います。

一つだけ具体的に申し上げますと、徳山港の晴海地区に計画されている、いわゆる「T10」ですが、これは産廃処分場として埋め立てた後はリサイクル施設等を建設する計画であると聞いています。昨年指定を受けた「リサイクルポート」の趣旨にもかなうものだと思いますので、早期に計画が実現できるよう県の積極的なご支援を要望いたします。平成合併第1号の周南市が「合併して良かった。」と自他ともに誇れるまちになるよう、今後ともなお一層の暖かいご指導・ご支援を心からお願い申し上げます、質問に入らせて頂きます。